

第 2 期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略

重点プロジェクト評価・検証シート

(令和 6 年度実績)

目 次

〈K P I 達成状況：達成 12 項目 概ね達成 2 項目 未達成 10 項目〉

1. まちの未来創造

数値目標「合計特殊出生率」	1
数値目標「交流人口」	1
N o. 1 住民による地区別計画推進の取り組み件数	2
N o. 2 市内路線バスの日利用者数	3
N o. 3 まちなか交流プラザ来館者数	4
N o. 4 宿泊者数	5
N o. 5 ナビデスク相談件数	6
N o. 6 地域おこし協力隊の定住者数	7
N o. 7 広域観光造成ツアー商品数	8
N o. 8 観光入込客数	9
N o. 9 インターンシップ受け入れ者数	10
N o. 10 羊と雲の丘来場者数	11
N o. 11 土別サフォーラム取り扱い飲食店数	12
N o. 12 新たな技術開発の試験研究件数	13
N o. 13 企業等との連携件数	14

2. 農業未来都市創造

数値目標「農家戸数」	1
数値目標「成雌めん羊飼養頭数」	1
N o. 14 排水性向上対策（暗渠施工延長）	15
N o. 15 土づくり対策（堆肥・緑肥施用面積）	15
N o. 16 新規就農者確保数	16
N o. 17 G P S ガイダンス活用面積	16
N o. 18 水管理システム台数（給水栓自動制御）	17
N o. 19 飼養技術研修会に参加する生産者数	18
N o. 20 新規めん羊飼養者数・新規飼養戸数	19

3. 合宿の聖地創造

数値目標「合宿者数」	1
数値目標「招致チーム数」	1
N o. 21 リピーターチーム数	20
N o. 22 チャレンジデーの達成率	21
N o. 23 スポーツイベントの参加者数	22
N o. 24 オリンピックデーラン参加者数	23

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略重点プロジェクト数値目標(令和6年度実績)

■まちの未来創造

担当課	数値目標	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 R8年度
企画課	合計特殊出生率	1.36 全国平均1.42	1.35 (H30～R4) 全国平均1.20 (R5)							1.5 全国平均以上
商工労働観光課	交流人口	334,312人	290,000人	616,078人	586,009人	560,428人	520,497人			460,000人/年

■農業未来都市創造

	数値目標	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 R8年度
農業振興課	農家戸数	585戸	553戸	537戸	492戸	470戸	442戸			450戸
畜産林務課	成雌めん羊飼養頭数	614頭	655頭	649頭	641頭	678頭	695頭			1,000頭

■合宿の聖地創造

	数値目標	基準値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 R8年度
スポーツ推進課	合宿者数	延24,223人	延11,462人	延14,314人	延16,271人	延21,177人	延18,827人			延24,900人
スポーツ推進課	招致チーム数	延487チーム	延217チーム	延270チーム	延380チーム	延415チーム	延351チーム			延500チーム

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.1	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	コンパクトタウンの推進と交通ネットワークの充実 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
住民による地区別計画推進の取り組み件数		3	3	3	3	4	4	4
基準値(2018年度):3件/年								
目標値(2026年度):延24件		4	1	4	4	4		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		「まちの地域力」推進事業						
【事業概要】 士別市「まちの地域力」推進事業支援要綱に基づき、まちづくり総合計画地区別計画等に位置づけた取り組みや協働による公益的なまちづくり活動の取り組みを支援し、地域力の向上を図る。 【実施状況】 ・一次募集 募集なし ・随時募集 令和6年5月審査会 申請1件、採択1件 令和6年7月審査会 申請1件、採択1件 令和6年8月審査会 申請1件、採択1件 令和6年10月審査会(書面会議) 申請1件、採択1件 【主な取り組み】 ・しべつまちゼミ 2年目 ・まちなかにぎわい広場推進事業 2年目 ・羊のまち士別トレランフェス 1年目 ・尚記杯争奪北海道4年生交流野球大会 2年目								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
新規事業が1件、継続事業が3件実施された。 今後は、団体による先進事例やモデル性の高い取り組みが他地域へ波及するよう、効果的な広報・周知に努める必要がある。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
先進的またはモデル性の高い取り組みについて、事例集の作成や市広報紙・ホームページ等での発信を強化し、地域内外への情報共有を図る。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.2	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	コンパクトタウンの推進と交通ネットワークの充実 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市内路線バスの日利用者数 基準値(2018年度):1,180人/日 目標値(2026年度):1,200人/日		1,180	1,180	1,185	1,190	1,195	1,200	1,200
		550	581	568	629	542		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		地域公共交通総合対策事業						
【事業概要】 士別市地域公共交通活性化協議会の研究組織として有識者、連携企業等で構成する「士別市次世代モビリティ推進会議」において、「士別市次世代モビリティビジョン」に掲げる市民ニーズの変化に対応する公共交通の確保と持続可能な公共交通維持のため、関係者間の連携やデジタル化の推進、利用環境の改善等の取り組みを支援する。 【実施状況】 バス事業者では、買い物を通じた公共交通の利用促進の効果検証を行うため、冬期間(12月から3月まで)市内循環線「わくわく買い物線」を運行した。 タクシー事業者では、公共交通の利用促進に加え、共働き世帯の習い事送迎にかかる負担軽減と住民ニーズの把握を目的とした「習い事応援タクシー」の実証実験を令和4,5年度に引き続き実施し、利用料金や実施方法、事業の効果等の検証を行った。 【主な取り組み】 ・「わくわく買い物線」の運行 ・「習い事応援タクシー」の実証実験								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
公共交通の利用者が減少傾向にある一方、住民ニーズの多様化による利便性の高い安定したサービスの提供が求められている。事業者の経営維持と効率的な地域の足を確保していくためには、利用者が少ない路線の減便や見直しが必要となっている。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
人口減が続く本市においては、公共交通利用者の回復は見込みが難しく、既存の地域交通網を現状のまま維持することが極めて困難な状況にあることから、士別市次世代モビリティビジョンに掲げる「協働と連携によるシームレスなモビリティ」の具現化にむけて、運行面でのバスとタクシーの役割分担や共通利用化など、新しい視点を組み合わせた「将来における士別市の交通体系」の構築を進める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.3	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	まちなか拠点の整備による賑わい創出 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
まちなか交流プラザ来館者数 基準値(2018年度):- 目標値(2026年度):延 720,000人		-	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
		-	387,099	294,586	273,660	266,578		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		中心市街地活性化事業						
【事業概要】 令和3年5月1日にオープンした「まちなか交流プラザ(道の駅)」を観光の情報発信拠点とし、まちづくり士別株式会社や関係機関と連携し、中心市街地の賑わい創出を図る。 【実施状況】 北海道で129番目の登録認定を受けた「まちなか交流プラザ(道の駅 羊のまち 侍・しべつ)」において、まちづくり士別株式会社との情報共有や意見交換を行いながら、中心市街地の活性化に向けた各種取り組みを実施した。 【主な取り組み】 ・サフォークスタンプ(349ポイントラリー感謝祭) など既存の取り組みとの連携 ・「まちなか交流プラザ(道の駅)」にて、春・夏・秋にイベントを開催。								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
「まちなか交流プラザ(道の駅)」は、オープン4年目を迎え、令和6年7月28日、来館者100万人を達成した。本施設は、24時間利用できる駐車場やトイレなどの休息機能があり、また、観光客やバス利用者、「道の駅」スタンプラリーなどの様々な目的で利用があり、また、「マイクロツーリズム」の浸透により、自家用車を利用した旅行形態や、地元の魅力の再発見など、近場で楽しむ方が増えてきていることも来館者増の理由と考える。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
「まちなか交流プラザ(道の駅)」を観光の情報発信拠点として、今後も、まちづくり士別株式会社と連携し、来館者の集客に努める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.4	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	まちなか拠点の整備による賑わい創出 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
宿泊者数 基準値(2018年度):80,554人/年 目標値(2026年度):延 574,000人		81,000	81,000	82,000	82,000	82,000	83,000	83,000
		56,000	59,450	74,840	99,884	69,478		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		中心市街地活性化事業						
【事業概要】 本市に訪れる観光客への情報発信や、市民及び合宿者への快適な環境整備の実施。 【実施状況】 「まちなか交流プラザ(道の駅)」におけるデジタルサイネージを活用した宿泊施設の紹介や、スポーツ合宿センター(士別inn翠月)の浴室改修を行い、宿泊客及び合宿者数の向上に努めた。 【主な取り組み】 ・情報発信の強化(道の駅における情報の一元化) ・スポーツ合宿センター(士別inn翠月)の浴室改修								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☒ 概ね達成 ☐ 未達成						
宿泊者数は目標値を達成できているが、閑散期(春及び秋)における誘客に課題がある。 「まちなか交流プラザ(道の駅)」の魅力向上に努めるとともに、宿泊者数については、より効果的なPRを含め取り組みを継続する。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
宿泊者の受入体制の整備、インターネット利用者に向けた戦略的な観光プロモーションを進める。また、PR動画や誌面、WEB広告など多様な情報発信ツールを効果的に活用する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.5	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	移住・定住パッケージの構築 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ナビデスク相談件数 基準値(2018年度):- 目標値(2026年度):延 200件		-	20	25	30	35	40	50
		-	67	63	76	69		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		移住定住促進事業						
【事業概要】 士別市移住定住交流促進協議会Mazaruによる移住定住政策の推進と、空き家空き地の有効活用を中心とした移住相談窓口「移住ナビデスク」の運営により、若者を中心とする交流・関係人口の一層の創出や定住人口の獲得を進める。 【実施状況】 ①まちづくり士別(株)への移住ナビデスク委託(空き家空き地に関する業務含む) ②Mazaru設立 ③Mazaruや外部専門家との連携による移住体験ツアー等の実施 【主な取り組み】 ・士別市移住ナビデスクの運営(委託業務) ・SNSによる情報発信 ・移住体験ツアー(短期滞在型) ・ふるさとワーキングホリデー ・休日、祝日の窓口開設 ・雑誌等への広告掲載 ・街デザイン会議(中期滞在型)								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
令和6年度は、本市の移住制度による定住者や二地域居住者の獲得、若者を中心とする関係人口の創出により、近年の移住定住政策が着実に成果に繋がってきていると感じる1年であった。10月には、官民の連携による士別市移住定住交流促進協議会Mazaruが設立され、産業や教育などとも連携しつつ、地域として移住定住を推進していく体制が整ったところ。 これまで行政主体となっていた移住定住政策の推進を、今後Mazaruが担っていくにあたり、全面的な市の財政支援に頼ることのないよう、持続可能な運営(主に資金調達)の手法をどうするか。関係人口を定住人口に繋げていく仕組みをどう構築するかが今後の重要なポイントとなる。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
Mazaruを中心に、今後産業や教育などの振興に向けた取り組みの議論を活発化させるほか、より定住の視点に重点を置いて取り組みを進める。また、新たな消費創出機会の提供やビジネスの展開、Mazaru資金調達の手法の検討を進める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.6	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	移住・定住パッケージの構築 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
地域おこし協力隊の定住者数 基準値(2018年度):1人/年 目標値(2026年度):延 7人		1	1	1	1	1	1	1
		2	1	3	1	2		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		地域おこし協力隊活動事業						
【事業概要】 地域力の維持や強化を図るため、地域おこし協力隊制度を活用し、地域外から新たな担い手や地域活性化策などを助言する意欲ある都市住民を受け入れ、定住定着にむけた取り組みを進める。 【実施状況】 地域おこし協力隊員は、年度当初の任用が3名。任期満了及び満了前の早期退任含む4名が退任となり、うち2名が定住となった。※年度当初10名⇒年度末6名 各隊員の活動については、毎月活動レポートの提出を求め、実施内容や進捗状況を確認している。また、退任後の定住をサポートするほか隊員間での連携や結束強化、地域との交流を図るため協力隊ネットワークを組織し、イベントへの出展や活動報告会を実施した。また、近隣4地域による広域連携(名寄・士別・剣淵・和寒地域おこし協力隊連携)を発足させ、交流と活動の強化を進めた。 (地域おこし協力隊員数内訳:R7.3.31時点) 農業支援員:1名 羊飼養:2名 観光振興:1名 起業型:1名 計6名 【主な取り組み】 ・協力隊員へのサポート ・市ホームページやマッチングイベントによる募集活動 ・起業・就業にむけた定期面談の実施 ・起業支援金の活用 ・隊員間での交流 ・広域連携による交流、活動の強化 ・活動報告会の開催や地域イベントへの出展による市民交流、PR								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
任期満了となった4名のうち2名が定住。協力隊ネットワーク(産業フェアや活動報告会による市民交流)や2市2町による他地域との交流等を通じた”地域との繋がり”を強化していく取り組みは今後も継続したい。一方、定住とならなかった方の反省を踏まえ、今後の隊員の受入にどうフィードバックしていくかが課題(特に就業を前提とした隊員の任期満了後の見通しや就業時のミスマッチなど)。 ■累計定住率 R6.3.31時点:39.1% ⇒ R7.3.31時点:40.7%								
■ 改善に向けた主な取り組み								
任期満了後の住環境と収入確保を見据えた募集・任用とする方針とし、引き続き地域との繋がりを強化していく取り組みを進め、”自分の居場所”づくりによる一層の定住率向上を目指す。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.7	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	広域連携による着地型観光の深化 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
広域観光造成ツアー商品数 基準値(2018年度):4商品/年 目標値(2026年度):6商品/年		4	4	5	5	5	6	6
		0	0	2	0	0		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		観光誘致宣伝活動推進事業						
【事業概要】 士別地域(士別市・和寒町・剣淵町・幌加内町)の観光資源を生かした広域観光ルートを形成し、多くの観光客が再度、この地域に来たいと思える新たな観光コンテンツの造成を進める。 【実施状況】 令和6年度においては、士別市・剣淵町・和寒町・幌加内町で構成する「1市3町着地型観光推進協議会」において、紙媒体のスタンプラリーと、JAFシステムとの連携によるデジタルスタンプラリーを実施し、地域PR・誘客促進を図った。 また、「あさひかわ観光誘致宣伝協議会」との連携により、旭川空港エリアへの誘客を促す観光PRイベントや商談会に、本市の観光情報を提供した。 【主な取り組み】 ・「士別・和寒・剣淵・幌加内食と観光周遊スタンプラリー」 ・JAFと連携した「士別・和寒・剣淵・幌加内ぐるっとドライブスタンプラリー」 ・旭川観光誘致宣伝協議会との連携(インバウンド商談会、WEBによるPR) ・情報発信の強化								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
「1市3町着地型観光推進協議会」の広域連携によるスタンプラリーが、周遊観光コンテンツとして定着しつつある。スタンプラリー事業を通じて、北海道内の道の駅での台紙の配架やWEB広告、フリーペーパーの掲載、観光協定を締結したJAFの会員誌「JAFメイト」の掲載など、広域連携による地域のPRと誘客促進を実施した。 今後も、引き続き広域団体等と連携し効果的な取り組みを検討する。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
今後においても、広域団体との連携を図りながら、周遊観光コンテンツの造成について検討を進める。 また、「まちなか交流プラザ(道の駅)」には、多くのツアー客が観光バスで来市していることから、道の駅イベントの情報発信の強化など、効果的なPRや取り組みを進める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.8	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	広域連携による着地型観光の深化 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
観光入込客数		336,000	456,000	457,500	457,500	457,500	460,000	460,000
基準値(2018年度):335,400人/年 目標値(2026年度):延 3,084,500人		290,000	616,078	586,009	560,428	520,497		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		観光誘致宣伝活動推進事業						
【事業概要】 既存の観光コンテンツのほか、広域連携による効率的かつ効果的な事業を実施する。 【実施状況】 「1市3町着地型観光推進協議会」による食と観光周遊スタンプラリー(紙媒体)と、JAFシステムとの連携によるデジタルスタンプラリーの2つのイベントを士別市、和寒町、剣淵町、幌加内町で連携し実施したことで、地域への誘客を促進した。 【主な取り組み】 ・情報発信の強化 ・広域連携した着地型観光								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
「1市3町着地型観光推進協議会」において、観光資源を活かした「ドライブツーリズム」を推進した。また、北海道へのインバウンド需要も高まっていることから、観光協会をはじめ、関係機関との協議が必要である。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
今後の観光誘致の対策として広域連携による着地型観光の推進は継続しつつ、「士別市観光振興基本計画(R8～)」の策定と合わせて、国内外の旅行者へ向けた地域への誘引策の検討を進めていく。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.9	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	広域連携による着地型観光の深化 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
インターンシップ受け入れ者数 基準値(2018年度):- 目標値(2026年度):延 27人		3	4	4	4	4	4	4
		0	0	0	0	0		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		観光誘致宣伝活動推進事業						
【事業概要】 外国人観光客の増加に伴う受け入れ側のインバウンド対応能力の向上に繋げ、交流人口の拡大を図る。 また、受け入れに必要なコミュニケーション能力・語学力の向上をめざす。 インターン生による各職場での体験をSNS等で情報発信するなど、地域における観光の魅力を広める取り組みを進める。 【実施状況】 インターンシップの受け入れについては、令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となり、令和5年度は、国立高雄科技大学(台湾)からインターンシップの受入の連絡があったものの、日程や財源の条件があわず未実施となっている。このことから、令和6年度は、「あさひかわ観光誘致宣伝協議会」の台湾、韓国等東アジア圏セールスプロモーションの際に、本市の観光情報を提供した。 【主な取り組み】 インバウンド受け入れ環境整備 情報発信コンテンツ								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
令和6年度まで、インターンシップの受け入れについては、未実施となっている。現状、外国人観光客の受け入れ体制や道内観光地でのオーバーツーリズムなどの課題があることから、インターンシップの受け入れや、インバウンド対応能力の向上については、関係機関を含めた検討が必要である。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
令和7年度は、「士別市観光振興基本計画(R8～)」の策定に合わせて、インバウンド観光の在り方について、観光協会をはじめ、関係機関との協議を実施する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.10	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	”羊のまち士別”ブランドの確立 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
羊と雲の丘来場者数		51,000	51,000	51,500	51,500	51,500	52,000	52,000
基準値(2018年度): 50,547人/年 目標値(2026年度): 延 360,500人		31,000	27,370	30,041	33,171	33,613		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		観光誘致宣伝活動推進事業						
【事業概要】 本市の特産品や地元食材を活用したメニューの提供のほか、観光パンフレットやホームページ、SNS等の媒体を活用した効果的な周知を進める。 【実施状況】 これまで同様、売店販売やレストラン、バーベキューハウスにおいて羊のまち士別「サフォークラム」のPRや道の駅と連動した販売を行った。 【主な取り組み】 ・情報発信の強化								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
GW期間中の「シープドックショー」やめん羊工芸館におけるイベントを実施し、羊と雲の丘への来場者増を目指したが、目標達成には至らなかった。 今後は、「まちなか交流プラザ(道の駅)」に来館する多くの方を、「羊と雲の丘」にも誘客できるような取り組みの構築が必要である。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
羊のまち士別「サフォークラム」の周知を含めた観光情報発信や、道北地域一体となった連携を図りながら、集客に向けた取り組みを継続する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.11	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	経済部商工労働観光課						
	基 本 施 策	”羊のまち士別”ブランドの確立 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
士別サフォークラム取り扱い飲食店数 基準値(2018年度):4店舗/年 目標値(2026年度):6店舗/年		4	4	5	5	5	6	6
		5	6	6	6	6		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		観光誘致宣伝活動推進事業						
【事業概要】 市内飲食店などでサフォークラム等の利用拡大を図り、SNS等を活用したPRを通じて、地域ブランド羊肉「士別サフォークラム」を発信し、本市への集客を図る取り組みを進める。 【実施状況】 道の駅にて、まちづくり士別(株)で実施する各種イベントで「士別サフォークラム」のラム串の定期的な販売などを実施し、「士別サフォークラム」をPRを実施できた。食してもらう、知ってもらう機会を設け誘客に努めた。 【主な取り組み】 情報発信の強化。 まちづくり士別による各種イベントの実施。								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
「まちなか交流プラザ(道の駅)」の各種イベントにより、これまで以上に多くの方に「士別サフォークラム」を提供する機会が増えている。 今後においても、「まちなか交流プラザ(道の駅)」の各種イベントを中心とした「士別サフォークラム」のPRと、WEB広告などを活用した、効果的な特産品PRを行う。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
「羊のまち士別」、「士別サフォークラム」の認知度の向上に向けて、情報発信を継続する。 また、本市及び地域を訪れる観光客に「士別サフォークラム」の美味しさを知ってもらうため、提供店舗の増加に繋がる取り組みも必要である。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.12	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	Society5.0の推進 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
新たな技術開発の試験研究件数 基準値(2018年度):延 2件 目標値(2026年度):延 3件		-	1	-	1	-	1	-
		-	1	1	1	2		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		企業誘致推進事業						
【事業概要】 本市に見合ったSociety5.0の構築に向けた調査研究を進めるとともに、MaaSの導入や自動運転の実証実験を中心に、本市が有する自然環境を生かした新たな技術開発の試験研究誘致に努める。 【実施状況】 見識のある企業との意見交換や「北海道自動車安全技術検討会議(事務局:北海道)」の参画等によって、WEBによるリモート会議を中心に、MaaSの導入や自動運転の実証実験に関する調査・研究を進めた。また、昨年度からの継続した誘致の取り組みにより、今年度冬期に市内において、国内企業による自動運転関連技術の試験が実施された。 【主な取り組み】 ・「自動運転試験」の誘致に向けた情報収集及び情報発信、北海道との連携、見識のある企業との意見交換 ・自動運転関連技術試験の誘致 R5:1件⇒R6:2件(パナソニックオートモーティブシステムズ、三菱電機)								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
冬期に本市ならではの気候特性を活かして自動運転関連技術の実証試験が実施され、拡大傾向にある。しかしながら、相談や本市からの資料提供を行ったものの誘致に至らなかったケースもあるほか、中長期日程による試験誘致には至っていない(経済効果が限定的)。なお、市内循環バスで利用できるバスロケーションシステムを引き続き運用し、Maasの概念を取り入れた市民の交通の利便性向上を図った。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
今後の取り組み強化に向け、HAIA(北海道自動車安全技術検討会議)との一層の連携強化のほか、多様化するニーズに合わせた新たな自動運転用の道路・フィールドの試験的運用を検討する。また、近年、冬期積雪寒冷の条件を活かした短期的な試験ニーズがあり、常設の試験場ではない小規模な試験誘致に向けて取り組みを一層強化する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.13	重点プロジェクト名	まちの未来創造						
	担 当 部 署	総務部企画課						
	基 本 施 策	遊休財産の活用も含めた企業誘致等によるまちの活性化 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
企業等との連携件数 基準値(2018年度):1件/年 目標値(2026年度):延 4件		1	-	1	-	1	-	1
		0	2	2	4	2		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		企業誘致推進事業、立地企業連携事業						
【事業概要】 特定遊休財産を中心に、利活用の見込みがない公共施設を活用した企業誘致を進めるほか、駅南工業団地の分譲に向け、積極的な周知等に努める。また、企業連携としては、立地企業との市民交流に引き続き取り組む。 【実施状況】 引き続き、企業誘致に向けた北海道との連携や見識のある企業との意見交換を実施したほか、駅南工業団地の分譲に関する北海道への情報提供を行った。また、特定遊休財産の活用提案や工業団地分譲に向けて募集を行った。 立地企業との連携(取り組み)としては、ダイハツ安全運転講習、主要立地企業6社の広報特集記事を発行した。 【主な取り組み】 ・北海道との連携、見識のある企業との意見交換 ・ダイハツ工業との共催による健康安全運転講座の開催(9月) ・主要立地企業6社の広報特集記事発行								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
例年開催しているダイハツ工業(及び北北海道ダイハツ販売)との連携による健康安全運転講座の開催したほか、主要立地企業6社(トヨタ、BS、ヤマハ、交科総研、三協精器工業、日甜)の広報特集記事を発行するなど一定の連携が図れた一方、特定遊休財産については、法令による規制のほか昨今の資材・コスト高騰により、企業の進出も停滞しているなどの問題があり、利活用に至るには難しい状況が続いている。 駅南工業団地について、1区画の売却(令和5年度からの継続案件)となったところであるが、残る別区画については売却には至っていない。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
駅南工業団地については、残る分譲地について引き続き募集を行う。 引き続き、基幹産業である農業や自動車等試験研究関連の事業所などの誘致のほか、サテライトオフィス誘致や移住・定住促進の視点も併せもった新たな誘致の取り組みを進める。また、本市ならではの資源(災害が少ない、工業用水の活用など)に着目した新たな誘致の取り組みを検討する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.14	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部農業振興課						
	基 本 施 策	持続可能な生産基盤の確立 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
排水性向上対策(暗渠施工延長) 基準値(2018年度):62,519m/年 目標値(2026年度):延385,000m		55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
		64,740	43,561	35,236	33,251	39,495		
3250.9								
KPIに特に関連する事業		中山間地域等直接支払交付金						
【事業概要】 排水性の向上により、適期作業を可能とし、農作物品質の向上・生産量の増加及び営農機械の走行性の改善による農作業の効率化を図ることで、農業所得の安定化等により持続可能な生産体制の確立を図る。								
【実施状況】 小規模な暗渠排水を実施し、排水性の向上を図った。								
【主な取り組み】 暗渠施工延長 39,495m								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
近年の物価高騰により暗渠排水工事費が増加傾向にあることから排水対策の取り組みが減少傾向にある。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
中山間農業・農村活性化事業の周知により、排水性向上対策の推進に努める。								

No.15	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部農業振興課						
	基 本 施 策	持続可能な生産基盤の確立 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
土づくり対策(堆肥・緑肥施用面積) 基準値(2018年度):2,294ha/年 目標値(2026年度):延16,000ha		2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,400	2,400
		2,379	2,327	2,098	2,022	2,247		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		中山間地域等直接支払交付金・産地交付金・環境保全型農業直接支払交付金						
【事業概要】 農業の原点である土づくりの推進を図る。								
【実施状況】 堆肥施用や適正な輪作体系の確立を図るため緑肥作物を導入し、農作物の収量・品質向上を図った。								
【主な取り組み】 堆肥施用面積 1,373.4ha 緑肥作付面積 873.4ha								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況(見込)		☐ 達成 ☒ 概ね達成 ☐ 未達成						
農作物の収量・品質向上のため、堆肥施用や緑肥作物を導入し、持続可能な生産体制の確立を図る。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
肥料価格の高騰による化学肥料の低減に向け、引き続き土づくりの推進に努める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.16	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部農業振興課						
	基 本 施 策	担い手の確保・多様で安定的な経営体の育成 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
新規就農者確保数 基準値(2018年度):8人/年 目標値(2026年度):延 35人		5	5	5	5	5	5	5
		6	8	7	10	10		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		農業農村担い手支援事業						
【事業概要】 就農研修者・新規就農者・新規参入者など地域の担い手の確保・育成を図る。								
【新規就農者内訳】 ・新規参入者 1人 ・Uターン(学卒者含む) 7人 ・雇用就農 2人								
【研修者内訳】 ・地域おこし協力隊員(農業支援員) 2人								
【主な取り組み】 ・就農相談会への参加 5回 ・農業大学への訪問 1回 ・募集掲載 市ホームページ(通年) 農業公社(通年) あぐりナビ(4月22日～7月21日) ・士別市担い手支援協議会の開催 3回 ・新規就農者等向け冬期学習会の開催 8回 ・就農研修者等との定期面談(随時) ・就農研修者の活動状況報告会 1回 ・産直マップの作成 掲載農家等 18件								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
新規就農者確保の目標は達成された。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
引き続き士別市担い手支援協議会等を開催し、担い手の確保について協議していく。								

No.17	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部農業振興課						
	基 本 施 策	スマート農業の推進 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
GPSガイダンス活用面積 基準値(2018年度):5,174ha/年 目標値(2026年度):延 41,090ha		5,450	5,590	5,730	5,870	6,010	6,150	6,290
		5,482	5,809	6,469	7,156	7,196		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		経営所得安定対策等産地交付金						
【事業概要】 GPSガイダンス活用により、農作業の省力化、低コスト化を図る。								
【実施状況】 GPSガイダンスの活用促進のため、経営所得安定対策等産地交付金の取り組みメニューの一つとして設定した。								
【主な取り組み】 GPSガイダンス活用面積 7,196ha								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
今後もGPSガイダンスの活用による農作業の省力化等が見込まれる。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
引き続き、経営所得安定対策等産地交付金の取り組みメニューとして設定し、GPSガイダンス活用の推進に努める。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.18	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部農業振興課						
	基 本 施 策	スマート農業の推進 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水管理システム台数(給水栓自動制御システム)		20	30	40	40	50	50	50
基準値(2018年度):- 目標値(2026年度):延 280台		56	2	6	1	3		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		多面的機能支払事業						
【概要】 スマートフォンで水田の給水栓管理を実施し、作業の省力化を図る。								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
【状況】 ・水管理システムが導入され、労働時間等の削減が図られた。 ※水管理の時間 1haあたり 期間 6月～8月 ・設置圃場 28min 既存圃場 102min 【課題】 ・他のICT機械(ドローンなど)の購入するなど、自動給水栓の設置が後回しとなっている。 ・自動給水栓に枝葉や草刈り後の草などが引っ掛かり、詰まってしまうため、正常に作動しない場合がある。 ・当初計画は、標準区画3.4haに2台を予定していたが、1台での対応で可能となっている。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
給水栓自動制御システムの導入について、地域と協議していく。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.19	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部畜産林務課						
	基 本 施 策	サフォーク羊の供給体制の充実 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
飼養技術研修会に参加する生産者数 基準値(2018年度):4人/年 目標値(2026年度):延 90人		10	10	10	15	15	15	15
		28	24	36	51	50		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		めん羊振興事業						
【事業概要】 めん羊飼育に関する全国・全道の機関・団体や生産者などとの連携、また、農業応援アドバイザーによる飼養技術向上などの助言や労働力の確保などにより生産基盤の充実を図る。 【実施状況】 生産者及び法人従業員等が統一的手法・見解による飼養技術取得を図るため、農業応援アドバイザーによる羊飼養現場の巡回指導を実施した。また、農業応援アドバイザーによる「飼養技術向上研修会」を開催し、飼養技術・知識の向上を図った。 【主な取り組み】 ・羊飼養現場巡回指導:2回(4月・10月)、7施設、延べ22名 ・飼養技術向上研修会:28名								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
農業応援アドバイザーによる羊飼養現場の巡回指導や飼養技術向上研修会を開催した。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
引き続き、農業応援アドバイザーによる羊飼養現場の巡回指導や飼養技術向上研修会を開催する。 また、市外生産者や関係機関が集まる「サフォーク種羊共進会」や北海道めん羊協議会などが開催する各種研修会への参加を通じて、飼養技術の向上に繋げる。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.20	重点プロジェクト名	農業未来都市創造						
	担 当 部 署	経済部畜産林務課						
	基 本 施 策	サフォーク羊の供給体制の充実 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
新規めん羊飼養者数(上段)		1	1	1	1	2	2	2
新規飼養戸数(下段)		0	0	0	0	0	0	1
基準値(2018年度):-		1	1	1	2	2		
目標値(2026年度):延 10人・1戸		0	0	0	0	0		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		めん羊振興事業						
【事業概要】 サフォーク羊の新規生産者の確保及び既存生産者の規模拡大の取組に対して支援する。 「地域おこし協力隊制度」の活用や各種大学・専門学校生の受入などを推進し、人材の確保・育成を図る。 【実施状況】 - 令和6年4月1日から羊飼養の地域おこし協力隊を1名任用した。 - 生産者の協力のもと、羊飼養実習者1名、お試し地域おこし協力隊4名を受入れた。 【主な取り組み】 - 地域おこし協力隊の任用 - 羊飼養実習者の受入 - お試し地域おこし協力隊の受入(R6新規)								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☒ 達成 ☐ 概ね達成 ☐ 未達成						
市内法人に新規めん羊飼養者として2名が就労した。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
士別めん羊生産組合と連携し、地域おこし協力隊制度を活用した担い手の確保・育成の取り組みを推進する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.21	重点プロジェクト名	合宿の聖地創造						
	担 当 部 署	生涯学習部合宿の里・スポーツ推進課						
	基 本 施 策	合宿受け入れ態勢と招致活動の充実 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
リピーターチーム数		153	155	157	159	160	161	162
基準値(2018年度):149チーム/年 目標値(2026年度):162チーム/年		87	95	106	113	102		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		スポーツ合宿推進事業						
【事業概要】 トレーニング施設的环境整備をはじめ、合宿チームのニーズに応じた送迎体制を確保するなど、合宿受け入れ態勢の充実を図る。また、合宿の里士別推進協議会への補助による活動支援を行い、官民一体となった合宿招致活動を進める。 【実施状況】 ・各駅伝大会等の開催に合わせ、開催地での各チーム毎の招致活動を実施。 ・本市と旭川空港、千歳空港間など送迎を実施。 ・トレーニング施設の適宜修繕やランニングコース看板の設置など適切な管理によるトレーニング環境の提供。 ・地元産の食材などの差し入れを実施。 ・朝日三望台シャンツェの改修。 【主な取り組み】 ・招致活動：クイーンズ駅伝(宮城県)・ニューイヤー駅伝(群馬県)など ・旭川空港や千歳空港間の送迎 ・陸上競技場トラック走路一部修繕 ・合宿チームへの差し入れ (地元産)トマトジュース、羊肉、牛肉など								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
合宿者数とリピーター数は、前年に比べ減少した。 主な要因は、朝日三望台シャンツェの改修により夏期ジャンプ合宿の減少、令和5年に開催されたウエイトリフティングインターハイによる減少、また、旅館1件が4月～8月にかけて休業したことも影響した。 ●課題 ・トレーニング環境や受入体制を整える。 ・高齢化等を理由に事業継続を断念する意向を示す宿泊施設への第三者継承に向けた側面支援を図る。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
・既存の受入施設と継続的に協議・情報交換を実施する。 ・合宿受入実績のない宿泊施設に対し、新たな受入体制の働きかける。 ・合宿の閑散期に向けた、新たな種目・チームの招致活動の推進する。 ・トレーニング環境の整備・修繕の継続的な実施する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.22	重点プロジェクト名	合宿の聖地創造						
	担 当 部 署	生涯学習部合宿の里・スポーツ推進課						
	基 本 施 策	生涯スポーツの推進 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
チャレンジデーの達成率		45.0	46.0	47.0	48.0	49.0	50.0	51.0
基準値(2018年度):27.1%								
目標値(2026年度):51.0%		16.1	24.2	30.2	-	-		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		市民スポーツ振興事業						
【事業概要】 市民一人ひとりの運動習慣の定着を目指し、「スポーツウィーク」を設け、運動を始めるきっかけづくりと健康への意識向上を図る。期間中は体験会やイベントなどを通じて、誰もが気軽にスポーツに触れられる機会を提供する。 【実施状況】 スポーツウィーク:6月15日から6月23日で開催。 全23プログラム総勢789人の参加。 ※令和5年度参加者数:632人 【主な取り組み】 ○いきいき健康センター事業(健康な体づくりに向けた運動体験会) ▽いきいき健康センター / 7プログラム・64人 ○トランポリン体験会 ▽士別トランポリン協会 / 2プログラム・26人 ○トレーニング指導 ▽(一財)士別市スポーツ協会 / 3プログラム・78人 ○サロンdeボッチャ ▽士別市社会福祉協議会 / 9人 ○羊のまち・しべつ健康ウォーキング ▽(一財)士別市スポーツ協会 / 30人 ○バルシューレ体験会 ▽士別スポーツウィーク実行委員会 / 51人 ○オリンピックに学ぶ健康な身体づくり ▽士別スポーツウィーク実行委員会 / 26人 ○ゴルフコンペ ▽士別同友会カントリークラブ / 73人 ○オリパラフェスティバル ▽士別スポーツウィーク実行委員会 277人 ▽ゲストオリンピック5名・デフリンピアン1名								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
市民の誰もがスポーツに親しむことをめざし、そのきっかけづくりとして「士別スポーツウィーク」へと内容を改めて2年目。 初年度は10月に開催したが、冬季になる時期であったため、2年目はその後の継続に繋がりのよい6月に開催。 期間中は、各種体験会やイベントなど多彩なプログラムを展開し、市民に運動機会を提供することで、スポーツや運動に取り組むきっかけづくりを図った。 令和6年度の総合体育館トレーニング室の利用者数が前年比 %増加しており、市民の運動意識の向上につながった。 ●課題 ・スポーツウィークの情報発信の強化 ・初心者や一般市民にとって利用のハードルが高いと感じられる総合体育館の利用しやすい環境づくり ・市やスポーツ協会などで年間とおして実施されている各プログラムの情報発信の充実								
■ 改善に向けた主な取り組み								
・引き続き、期間中に各種体験会やイベントなど多彩なプログラムを展開し、運動へのきっかけづくりを促進する。 ・士別市スポーツ協会と連携し、総合体育館が初めての方や運動初心者でも気軽に利用できる、入りやすい環境づくりを進める。 ・市民の関心が高い健康づくりに関する情報を、広報誌や市ホームページなどを活用して発信する。 ・通年で実施されている各種プログラムを集約し、告知・周知を強化する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.23	重点プロジェクト名	合宿の聖地創造						
	担 当 部 署	生涯学習部合宿の里・スポーツ推進課						
	基 本 施 策	各種イベントの充実 上段:目標値 下段:実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
スポーツイベントの参加者数 基準値(2018年度):5,624人/年 目標値(2026年度):5,930人/年		5,630	5,680	5,730	5,780	5,830	5,880	5,930
		482	899	3,033	3,397	2,993		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		スポーツイベント開催事業						
【事業概要】 国内外のトップアスリートが参加する質の高い各種スポーツイベントの開催や市民の参画をはじめ、市内関係団体と連携を図りながら、魅力ある大会づくりを進める。 【実施状況】 朝日三望台シャンツェの改修工事の実施のため、サマージャンプ大会は未開催となった。 そのほか、士別ハーフマラソン大会では、士別観光協会と連携し士別らしい「食」の提供を行うため、士別グルメロードを会場内に設置したことで、魅力向上を行った。 ※参考 令和6年度サマージャンプ未開催大会一覧 ・全日本サマーコンバインド朝日大会 ・全日本サマージャンプ朝日大会 ・全日本ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会 ・「合宿の里士別」ジュニアサマージャンプ交流大会 ・クラレ高梨沙羅カップジュニアサマージャンプ朝日大会 【主な取り組み】 ・士別ハーフマラソン大会 1,797人 ・ホクレン・ディスタンスチャレンジ士別大会 232人 ・士別ディスタンス 63人 ・サフォークランド士別カップ少年サッカー大会 251人 ・朝日ノルディックスキー大会 271人 ・オリパラフェスティバル 277人 ・トランフェス 102人								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
イベント参加者数は、前年に比べ減少した。 主な要因としては、士別ハーフマラソン大会の参加者は、前年を上回ったものの、朝日三望台シャンツェの改修によりサマージャンプ大会が未開催となったこと、令和5年に開催されたウエイトリフティングインターハイのにより前年を下回る結果となった。 競技会は、選手の参加状況に左右されるため、安定的な参加者数の確保は難しい状況にある。 ●課題 誰もが気軽に参加できるイベントの魅力を効果的に発信し、ターゲット層に応じた周知活動を強化することで、安定的な参加者数の確保を図る。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
・士別ハーフマラソン大会 給水所の充実、救護体制の強化など、ランナーにとって快適な走る環境づくりを進める。 会場に、地元の食を提供する士別グルメロードを設け、走ったあとの楽しみを充実する。 ・オリパラフェスティバル 市の広報紙やホームページ、SNS等を活用した情報発信に加え、市や関係団体が行う郵送物へのチラシ同封など、多様な手段による告知を実施する。								

第2期士別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト評価・検証シート

No.24	重点プロジェクト名	合宿の聖地創造						
	担 当 部 署	生涯学習部合宿の里・スポーツ推進課						
	基 本 施 策	オリンピック・ムーブメントの推進 上段：目標値 下段：実績						
KPI項目		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
オリンピックデーラン参加者数 基準値(2013～18年度): 平均666人 目標値(2026年度): 730人/年		670	680	690	700	710	720	730
		125	143	467	-	-		
■ 実施した主な取り組み								
KPIに特に関連する事業		ホストタウン推進事業						
【事業概要】 オリパラフェスティバルでは、オリンピックとパラリンピアンを招聘し、オリンピックムーブメントの普及、啓発を図るとともに、様々なスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさや面白さなどの魅力を知ってもらう。また、スポーツ教室では、オリンピックを講師に向かえ、トップアスリートの技術を間近で感じるなかで、よりスポーツに親しんでもらうイベントとして中学生を対象とした「オリンピック教室(オリンピック教室)」を開催する。 【実施状況】 ○オリパラフェスティバル ▽実施日 6月23日(日) ▽実施団体／参加数 士別スポーツウィーク実行委員会 277人 ▽実施場所 士別陸上競技場 ▽ゲストオリンピック 鈴木 靖さん(スケート)・松本 遥奈さん(スノーボード・ハーフパイプ)・清水 徹郎さん(カーリング)・藤本 もえこさん(アイスホッケー)・湊 祐介さん(ノルディック複合) 松元 卓巳さん(デフサッカー) 【主な取り組み】 ・オリパラフェスティバル 277人 ・オリンピック教室 2学年対象 - 士別南中学校 46人 - 士別中学校 53人								
■ KPI達成状況及び課題								
KPI 達成状況		☐ 達成 ☐ 概ね達成 ☒ 未達成						
「オリンピックデーラン」から「オリパラフェスティバル」へと内容を改めて2年目。本市と包括連携協定を締結している北海道オール・オリンピアンズの協力により「オリパラフェスティバル」及び「スポーツ教室」を開催した。 ●課題 これまでの参加者の継続参加や新規層の取り込み。								
■ 改善に向けた主な取り組み								
・市の広報紙やホームページ、SNS等を活用した情報発信に加え、市や関係団体が行う郵送物へのチラシ同封など、多様な手段による告知を実施する。								